

2007年度 日本雪氷学会北海道支部 研究発表会

日時：2007年6月21日（木）10:00～18:30

場所：北海道大学 学術交流会館 第一会議室

札幌市北区北8条西5丁目（北大正門前、案内所の隣）

入場無料（会員以外の参加も歓迎します）

Session I（道路雪氷）：10:05～10:50

連続路面すべり抵抗値測定装置（RT3）の導入について
平成18年度冬期における札幌市中心部の歩道の路面状況について
人の行動から見た雪道スリップ転倒の発生構造

舟橋誠（土木研究所寒地土木研究所）
川村文芳（北海道開発技術センター）ほか
新谷陽子（北海道開発技術センター）

Session II（森林雪氷）：11:00～12:00

国道243号美幌峠の防雪林における雪害後および今後の保育手法について
風洞実験による防雪林の樹木形態と防雪効果の関係について その2
気温測定からみたイチイに対する菰巻きの効果について
除雪害を受けたイチイの幹折れおよび枝抜けについての解剖的な観察

斎藤新一郎（環境林づくり研究所）ほか
山田毅（土木研究所寒地土木研究所）ほか
阿部正明（北海道開発技術センター）ほか
斎藤新一郎（環境林づくり研究所）

Session III（建築物への積雪・着雪・着氷）：13:20～14:50

振動による屋根雪の滑動と構造体との動的相互作用に関する基礎的研究その1
—振動による屋根雪の破断モードと構造体の応答性状との関係—
振動による屋根雪の滑動と構造体との動的相互作用に関する基礎的研究その2
—屋根雪滑動時における構造体の応答性状—
紐状冠雪の成長抑止実験
人工降雪装置を用いた建物屋根上の雪庇の形成実験
現地観測による道路案内標識の冠雪および落雪過程の把握
鉄道トンネル内に発生するつららの観測（第1報）

千葉隆弘（北海道工業大学）ほか
宗像真木彦（北海道工業大学）ほか
竹内政夫（雪氷ネットワーク）
堤拓哉（北海道立北方建築総合研究所）ほか
松下拓樹（土木研究所寒地土木研究所）ほか
小川直仁（JR北海道）

Session IV（雪氷寒冷圏の環境科学）：15:00～16:30

小型マイクロ波放射計の積雪観測と雪氷防災への利用の可能性
オホーツク海北海道沿岸における3ch版可搬型マイクロ波放射計MMRSを用いた船上海氷観測
船舶搭載型マイクロ波放射計を用いた南極昭和基地沖の流氷・定着氷の氷厚観測
アラスカにおける積雪縦断観測および衛星データを用いた積雪比較
北海道・然別の風穴地に分布する越年地下水の形成年代と起源の推定
南北両極の氷床コアに含まれる塩微粒子の分布と化学組成
—Termination Iにおける大気エアロソールの変動との関係—

榎本浩之、〇小嶋真輔（北見工業大学）ほか
内田圭一（北見工業大学）ほか
舘山一孝（北見工業大学）ほか
木村しずか（北見工業大学）ほか
澤田結基（北海道大学低温科学研究所）
櫻井俊光（北海道大学大学院環境科学院）ほか

Session V（教育・生活・情報・雪崩）：16:40～18:25

子供達の雪氷防災意識向上を継続的に支える試み
豪雪地住民の人力除雪の作業能力と体力要素
氷河観測時における気象情報の取得方法
雪崩予防柵を斜面積雪がすり抜ける現象の発生気象条件について—大雪湖周辺の事例解析—
地震発生時の斜面積雪の安全率評価に関する一考察
2007年3月18日に積丹岳ピリカ台南斜面で発生した雪崩の調査報告
SPP特別授業『積雪の科学』の実施について

中村一樹（日本気象協会北海道支社）ほか
須田力（北方圏体育スポーツ研究会）
的場澄人（北海道大学低温科学研究所）ほか
松下拓樹（土木研究所寒地土木研究所）ほか
松澤勝（土木研究所寒地土木研究所）ほか
尾関俊浩（北海道教育大学岩見沢校）
平松和彦（北海道旭川西高等学校）

問い合わせ先：社団法人 日本雪氷学会北海道支部 事務局

幹事長 北大低温研 石井吉之（011-706-5583）

